

ありがとう水

梅野 結

小郡市立東野小学校

わたしは、水道のじゃ口をひねればいつでもきれいな水が出てきて、川や海がきれいなのが、当たり前だと思っていました。社会の学習や本で調べてみると、水がきれいで生活できているのは、当り前の事ではないと知りました。

社会の時間に、じょう化センターの人の説明をリモートで受けました。よく通る道の近くにあつて、じょう化センターがわたしのすむ場所にもある事が分かりました。わたし達の使ったよごれた水を集めて、きれいにして、川や海に流しているしせつという事が分かりました。目に見えないくらい、小さな生物という生き物が、水をきれいにしてきているのが、おどろきました。小さいのにすごいなと思いました。水をよごさないように、かみの毛や油を流さないようになど、学習した事を家族にも教えてあげました。

大雨などで、雨がたくさんふっても、道路に水があふれないのは、道路にあるマンホールから、ずっと下に行き、雨水かんを通って、川などに流れていくからだという事が分かりました。最近、大雨が多いので、ふだんからマンホールやそっこうなどの落ち葉やごみを拾うようにしたいです。

道路の下には、下水道かんや雨水かんなど生活するために必要なとても大切なものがかくれている事が分かりました。見えないところ

で、水が流れているなんて、おどろきました。

夏休みに図書館で、「もしもトイレがなかったら」という本をかりてきて、読みました。世界の半分の人にトイレがないと書いてあり、びっくりしました。トイレがなくて、病気になったり、水や川などがよごれてしまう事も分かりました。日本でも、江戸時代などは、トイレが原いんの病気でたくさんの方がなくなつたと書いてありました。きれいなトイレが世界中に広がって、安心して生活できるようになると思います。

きれいな水があるのは、水道や下水道の仕事をしていてくれる人のおかげだと思います。その仕事をしている人に感しゃの気持ちを持って、水を使うようにしたいです。

これからも、ずっときれいな水、川海がありつづけられるようにしたいです。わたしにできる事は、小さな事かもしれませんが、水をよごさないように生活していきたいです。

きれいな水は、当たり前ではありません。わたし達、一人一人の心がけが大切です。きれいな水をいつまでも使いつづけられるようにしたいです。

ありがとう水、これからも大切に作るねと水に伝えてあげたいです。